

1・2号機主排気筒モニタ室（非管理区域）における 発煙に関する調査結果について

平成 19 年 6 月 3 日、定期検査中の 1 号機中央操作室にて「1・2号機主排気筒モニタ*¹」に関する警報が発生しました。

運転員が現場を確認したところ、当該モニタの取替工事にともない使用していた仮設サンプリングポンプ*²に電源を供給している電源ケーブルと電工ドラムとの接続部から煙が発生していたことから、電工ドラムのケーブルを壁コンセントから取り外すとともに、消防署に連絡しました。

消防署員による現場確認の結果、「火災ではない」と判断されました。

なお、本事象の発生にともない、仮設サンプリングポンプを予備機に切り替えるまでの間、当該モニタの指示値が欠測しておりましたが、他の放射線モニタ等の指示値に異常がないことから、放射性物質の放出はなかったものと評価しております。 [（平成 19 年 6 月 4 日お知らせ済み）](#)

調査の結果、以下のことがわかりました。

- ・電源ケーブルと電工ドラムの接続部において金属部分および樹脂部分が溶融・炭化していたこと。
- ・電源ケーブルと電工ドラムの接続状態が緩めであったため、テープで固定していたこと。
- ・作業員は、電工ドラムが干渉する作業時に、電源ケーブルを接続した状態で電工ドラムを数回に亘って移動させており、その際、電源ケーブルの接続状態を確認していなかったこと。

以上のことから、発煙の原因は、接続当初から電源ケーブルの接続状態が緩めであった上に、電工ドラムを移動させた際、張力が加わったことから、接続部が徐々に緩み接触面が減少し、過熱して発煙に至ったものと推定しました。

対策として、以下のことを実施するとともに関係箇所に周知します。

- ・電工ドラムを使用する際には、作業前に接続状態を確認する。
- ・電源ケーブルを接続した状態で電工ドラムを移動する際には、接続状態を確認する。
- ・電源ケーブルを接続した状態でその場を離れる際には、離れる前後に接続状態を確認する。

以 上

* 1 1・2号機主排気筒モニタ

1・2号機の建物内の空気や復水器を真空にしておくための排ガスが、環境へ放出される排気中の放射線を測定する装置。

* 2 サンプリングポンプ

1・2号機主排気筒から放出される排気を捕集するポンプ。